

令和6年4月吉日

各位

東龍寺住職 渡辺 宣昭

第二十一回 眼蔵会開催の御案内

拝啓 陽春の候、皆様にはお変わりなくお過ごしのこと大慶至極に存じます。

本年も拙寺では、僧俗一如（お坊さんと在家の方々と一緒に修行すること）の「第二十一回眼蔵会（げんぞうえ）」を一休会（近隣の若手僧侶の会）のご協力を頂いて開催致します。

「眼蔵会」は、坐禅を実践しながら、道元禅師がお示しになられた『正法眼蔵（しょうぼうげんぞう）』の集中講義を受ける、行学一如（学問と修行を共に行う）の法会です。

講師には、駒澤大学教授 角田泰隆先生をお招きします。先生は、私と大本山永平寺で、共に修行をした法友であり、道元禅師研究の第一人者として、多数の著書がおありで、令和三年からは大本山永平寺の眼蔵会講師をおつとめになっておられます。当山眼蔵会では、初回から講師をおつとめ頂き、解りやすく内容の濃いお話で参加者一同より、好評を博しております。

今回は「行持」下の巻の第三回目、最終回となります。「行持」の巻は、道元禅師が尊敬する禅師方の修行の様子を説かれたものですが、ようやく「行持」の巻を読み終えることとなります。芙蓉道楷禅師の行持から、道元禅師の師である天童如浄禅師の行持まで学びます。

今年は、五年ぶりに寺での宿泊と略応量器による飯台を復活し、下記日程で行いますので、どうか、一念発起して、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

- 一、期 日 七月四日（木）午後二時～六日（土）午後一時まで
- 二、講 師 駒澤大学仏教学部教授 角田泰隆先生
- 三、講 本 正法眼蔵 「行持」（講本は、こちらで準備します。）
- 四、参加費 三日間で、九千円（一日につき、三千円） 宿泊の方は、布団代、千円をお願いします。
- 五、携帯品 筆記用具、寝間着、シーツ、枕カバー（バスタオルなど）、洗面具
五年ぶりに、般若心経の写経を行いますので、書道用具（小筆・硯）もお持ちください。

尚、参加される方は、準備の都合上、六月二十九日（土）までに、お申し込み下さい。
定員五十名になり次第、締め切らせていただきます。

〒959-1502 新潟県南蒲原郡田上町大字田上乙一三七四 東龍寺
TEL 0256-57-3395 Fax 0256-57-2174
URL <http://www.ginzado.ne.jp/~ryusei/> e-mail ryusei@ginzado.ne.jp

以上

動 静 表

	小食（朝食）	中食（昼食）	薬石（夕食）	宿 泊
4日（木）				
5日（金）				
6日（土）				

住所 〒

氏名

TEL・FAX

その他